



ふれあいネットワーク
 いちのせき
**社協
 だより**
 第25号
 [2012年11月30日発行]



一関市子育て サロン研修会を開催

11月14日、大東町大原公民館を会場に、乳幼児と親、託児ボランティア32名が集まり、子育てサロン研修会がにぎやかに開催されました。

岩手県栄養士会の小山静子先生を講師に招き、講話「子どもたちに食べる大切さと楽しさを学んだ後、座談会を行い交流を深めました。隣室では、託児ボランティアグループの「おひさま」と「ポピーの会」の皆さんが子どもたちを見守って下さり、親子が安心して過ごす事ができました。

今後も、親子、それを支える方々とのふれあいを楽しみに、それぞれの地域に出向いて行きたいと思えます。

一関市社会福祉協議会では、平成21年度より、地域住民が主体となり、就学前の子育て家庭の育児不安の解消や、参加者が互いにふれあい仲間づくりを行うことを目的に、「子育てサロン」の開設を支援しています。



この広報は共同募金の一部をあてて発行しております。

広がれ！ 結いの心

—「ゆいこ広場」室根—

社協ふくし祭「ゆいこ広場」IN室根が、九月三十日、市役所室根支所・特設ステージを会場に開催されました。「支え合い 幸せを感じる地域の暮らし」森と川が育むー生命の共生をめざしたまちづくりのメインテーマのもとに、約四百人の市民が集い、交流を通じて結いの心の大切さに気持ちを新たにしました。開会セレモニーでは、折壁保育園児によるかわいらしいマーチングの披露、引き続き、ふくし標語・川柳コンクール表彰、室根まちづくり協議会長さんによる基調講話が行われました。イベント会場では、室根中学校吹奏楽部の演奏をはじめ、太鼓演奏・気仙沼SCKガールズのライブ、よさこい演舞が会場を盛り上げました。各種コーナーでは、歯の健康相談、心肺蘇生法体験、非常食炊き出し、餅振る舞い、ちびっこ広場、作品展示・活動紹介、特産品販売、消防車等車輛展示など、幅広い協力・協賛団体の連携協力のもと、大いに賑わい、誰もがこの地でいつまでも健康で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を推進するため理解と交流を深めた市民の福祉の祭典となりました。



開会式



標語・川柳コンクール表彰式



記念講演



室根中学校吹奏楽部



よさこい演舞



たまご湯による足湯

ふくし標語・川柳コンクール審査結果

ふくし標語 審査委員 摺沢幼稚園長 佐藤ワカ子氏・浜横沢児童館長 白石寛子氏

小学校の部…応募総数96点

特選 「思いやり 心のつえに なりたくて」 室根東小学校6年 熊谷 瑞穂 さん

準特選 「まんまるの えがおをさがそう みんなで」 室根東小学校4年 千葉 智穂 さん

一般の部…応募総数5点 特選、準特選 該当者なし

ふくし川柳 審査委員 村上達男(村上木偶坊)氏

特選 「笑ひ皺 ふやし白寿も 狙う日日」 小山 武三 さん

準特選 「浄土への 道と草引く 手に力」 佐藤 ユキ さん



支部通信

一関支部

じどうかんまつり

～真滝児童館～



十月二十日(土)、秋晴れのさわやかな空の下、真滝児童館において児童館の利用児童や地域の方々など約二五〇名が参加して「じどうかんまつり」を開催しました。

「じどうかんまつり」の目玉はご父兄や地域の方による「すいとんお振舞い」。ツルンとしたすいとんに「おいしい」「おかわり」の声上がる程大好評で、約五百食分が完食となりました。子どもたちはわたあめ食べ放題や射的などのゲームコーナーに集中し、長蛇の列ができました。チャレンジコーナーではお化けカボチャの重さ当て、リンゴの皮むき大会も

大いに賑わいました。

そして盛り上げに一役買ったのが、一〇五年生女児によるAKB48のダンス披露。夏から練習してきた子どもたちは少しはにかみつも踊りました。会場からの手拍子や暖かい笑顔に見守られ、二曲のダンスを元気いっぱい踊りきった子ども達でした。

多くの地域の方々と交流することができた「じどうかんまつり」、おいしくて楽しい一日を過ごしました。来年もお誘いあわせの上、いらして下さいね。

花泉支部

元気のお手伝い！ 『職場体験学習』

花泉支部では今年も、七月三日から三日間、花泉中学校二年生七名の職場体験学習を受け入れました。

町内に数多くある事業所の中から、自ら進んで福祉の仕事を選択し参加した生徒のために、期間中は寿光荘、ソエル花泉、ヘルパーセンター花泉、老松介護予防センターの協力をいただき、施設の仕事やヘルパーの仕事、障害のある方との交流など、幅広く福祉の仕事を体験してもらいました。

暑い時期

でしたが最後まで投げ出さず、全員で取り組みました。事後の感想文から



は「高齢者との会話は大きな声でゆっくり話すことに気をつけた。」「高齢の利用者と一緒に七夕飾りを作った。願い事の『元気になりたい』『長生きしたい』『自分には当たり前のことが、実はとても幸せなことだと気づいた。』『将来は介護福祉士になりたい。』など、多くのことに気づき、成長した様子が見てとれました。

今後も福祉学習の一助になればと、花泉支部では小学校でのキャップハンディ体験指導や、小・中・高校生を対象に冬休み期間を利用し福祉作文コンクールを予定しております。



大東支部

年に一度の再会喜ぶ

大東支部では十一月十一日、グリーンパレス大東を会場に、今年で二十三回目を迎える「ひとり暮らし高齢者のつどい(秋桜のつどい)」を開催しました。

今年度は、参加者同士がゆつくり語り合える時間を一時間程度組み入れ、内容にひと工夫。語り合いの中では、冬に向けての寒さ対策への不安や雪かき、買い物心配などが話題に上げられました。

また、千厩警察署の藤島巡査長による、「高齢者の交通事故防止」についての講話や、高齢者総合相談センターしづたみの職員による、口腔体操が紹介され、よく



囁んで口を動かすことの大切さを学びました。参加者からは、「毎年、秋桜のつどいを楽しみにしている。」「今年初めて参加した人とたくさん話すことが出来た。」「一年一度の再会を心待ちにしている。」「といった今後の継続的開催を望む声が聞こえたつどいとなりました。



千厩支部

『元気はつらつ！』 「千厩サロン祭り」

元気ハツラツ！十月二十五日、千厩支部では千厩支所等関係機関の協力により昨年度に引き続き「千厩サロン祭り」を開催しました。今年度も約四〇〇名の皆さん



の参加を
いただき
盛大に開
催するこ
とができ
、地域の
お茶のみ
交流の場
であるふ
れあいサ
ロンに対
する関心
の高さが
伺われま
した。

千厩サロン祭りは、それぞれの地域のふれあいサロンの活動の展示や親睦交流を目的としたもので、サロンの紹介や会員(利用者)がサロンで作った手芸品等の作品展示や販売が行われました。また、サロンでいつも実践している健康づくりのための体操や踊り等のステージ発表等を行い、参加者が楽しく情報交換や相互の交流を図りました。今年度は、音楽の時間(琴城流大正琴東磐井支部師範の皆さん・大正琴の演奏と歌の伴奏)、体操の時間(ヘルスケアトレーナー畠山洋子さん・座ったままでもできる大人のラジオ体操の指導)、学びの時間(いわて東山歴史文化振興会会長佐藤育郎さん・講話「東磐の誇り」)を設け、音楽に親しんだり体操に取り組んだり、また地域の文化等について講話を聴く等それぞれの講師の皆さんから楽しく学ぶことができました。中でも畠山先生の体操指導は勿論のこと、サロンの皆さんがステージで体操

等の発表を行う度に、座ったまま又は立ち上がりて身体を動かす等、会場が一体となつて千厩サロン祭りを楽しむことができました。「○○サロンで実践している体操と手遊びを、私たちのサロンでもやってみます。」「来年はステージに上がって何かやってみたい」と話してくれたサロンのお世話人もいました。

このサロン祭りを、地域のサロン運営の参考にしていただければ幸いですし、これからも地域のふれあいサロンを通して、健康づくり仲間づくり、趣味活動を楽しんでいただきたいと考えています。

東山支部

「元気でがんばってね」
ひとり暮らし高齢者の集い



十一月十三日(火)東山地域交流センターにおいて、東山公民館の協力のもと「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催しました。

東山町内で暮す高齢者二十八名が出席

し、世代間交流を深めました。はじめに町内で活動する人形劇サークル「つくしんぼ」の昔話の上演、げいぶ幼稚園のお遊戯、長坂保育園のよきこいを披露していただきました。演劇終了後子供たちが席をまわり、ひとりひとりと握手をしながらお話ししておりました。皆さんの満面の笑顔が印象的でした。

その後、「家庭での安全な電気の使い方」と題した東北電力のホームアドバイザーの講話を聞きました。

お楽しみの昼食は、中央婦人学級生の作った心のこもった手料理(お赤飯他四品)をいただき、会食しながら交流を深めました。

帰りには、「また来年会いましょうね」という声飛び交っておりしました。

室根支部

チームワークで勝利をめざせ！
―室根地域「シルバースポーツ大会」―

去る九月六日、第四十三回室根地域「シルバースポーツ大会」が室根きらめきパーク屋内テニスコート場を会場に開催され、十クラブ約三百八十人が参加して熱戦が繰り広げら



れました。

競技は、宝くじ競走や配食レースなど八種目で競われ、恒例のボール送りや玉入れでは、どのクラブもチーム一丸となり、会場には歓声や掛け声が響きわたりました。白熱した競技をみごと制し、種目ごと表彰で表彰台上がり、金・銀・銅メダルを手にした選手の皆さんは、皆とても「いい笑顔」に輝いていました。

競技に応援に、どのチームも一致団結して、チーム内外の親睦を深めながら、心地よい汗をかいたようです。

大会結果は、「愛友会(会長・菅原政輔、二十四年三月発足)」が大健闘し、初出場で初優勝を飾りました。(主な順位/準優勝・上折壁第一老人クラブ、第三位・釘子老人クラブ)

川崎支部

「障がい者の交流事業
やまびこ教室を開催」

十一月十五日奥州市衣川区の黒滝温泉で、川崎町手をつなぐ育成会とかわさき虹の会との共催で、障がい者の交流と社会参加を目的とした、やまびこ教室を開催しました。

手をつなぐ育成会の総会と屋外レクリエー



地域活動団体紹介

特定非営利活動法人（NPO法人） 藤沢町ボランティアピアセンター

一関市社協藤沢支部事務所の隣にNPO法人藤沢町ボランティアピアセンターがあります。

当事業所は、町内唯一の在宅サービス事業所として、地域包括医療を推進する国保藤沢病院との連携を図り、先生方の指導を受けながらサービスの質向上に努めております。



【毎年ボランティアセンターが開催している健康ふれあいウォーキング】

藤沢町ボランティアピアセンター（小野寺恒雄理事長は、平成五年四月に東北初の福祉公社としてスタートし、共に支え合うボランティアタウン藤沢をめざして、住民参加の互助による高齢者、障がい者そして介護者を支える結いの仕組みを基本に、住民の一般会員としての支援や福祉サービス協力会員としての参加による、生きがい事業やライフヘルプサービス事業、福祉送迎サービス事業、福祉機器貸出事業等の事業運営を行ってまいりました。その後、平成十一年六月には、福祉関係では県内第一号の特定非営利活動法人として岩手県から認証を受け、経営基盤の確立を図るとともに、平成十二年二月には介護保険事業所として指定を受け、訪問介護、訪問入浴サービス事業をスタートしたところであります。

また、平成十八年度には介護保険法の改正により、介護予防サービスが創設され、更には自立支援法による身体障害者等への居宅介護支援事業の事業所として総合的な在宅サービスを提供してきたところであります。

現在のボランティアセンター運営の基盤を成すものは、介護保険制度による訪問介護、訪問入浴が中心で、収入の大半

介護予防等を目的にかんぼの宿一関を会場に三十二名が参加して開催しました。

この集いは、これまで社会福祉法人藤沢町社会福祉協議会とNPO法人藤沢町ボランティアピアセンターの共催で宿泊の伴う取り組みを行っておりましたが、本年の社協の合併を機に、一泊の集いはボランティアピアセンター、日帰りの集いは一関市社会福祉協議会藤沢支部で行うことにしましたものです。

当日は、一関市役所藤沢支所の三浦しげ子保健師さんに、ひとり暮らしの中で注意しなければならない健康面、生活面、食事等についての講話と、認知症についての話題提供があり、皆さん熱心に聴講されていきました。

今回の日帰りの集いは、はじめての開催でありましたが、参加者の皆さんより「移動することなくゆっくりできた」、「日帰りの場合は参加しやすい」、「昼食が豪華だった」、「風呂が良かった」などの感想が寄せられました。



ションも合同で開催しているもので、両会の会員と対象者総勢二十五名が参加、天候にも恵まれて車窓からの紅葉を楽しみながら温泉に到着しました。

会食では豪華なお弁当をお腹いっぱい頂きながら、会話も弾み交流が深まったようです。

会食後には黒滝温泉特有のヌルツとしたぬめりある温泉に入り、ゴロゴロしながらリラックした時間を過ごしてしましました。

毎年やまびこ教室を楽しみにしている方もおり、辺りを散策し紅葉を眺め、惜しみ行く秋を目と食で満喫しました。

藤沢支部

平成二十四年度ひとり暮らし高齢者の集い開催

十月十七日（水）にひとり暮らし高齢者の孤独感の解消、健康と生きがいの高揚、

自分ひとりで判断することが不安な方へ

あんしんねっと (日常生活自立支援事業)

社会福祉協議会では、判断能力に不安がある方でも安心して地域での生活が送れるよう、福祉サービスの手続きや日常の金銭管理、書類の保管などのお手伝いを実施しています。

利用できる方

たとえば、認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が充分でないため

- ◎福祉サービスの利用のしかたがわからない
- ◎日常的な金銭管理(預貯金の出し入れ)が上手くできない
- ◎公共料金、医療費の支払いができない ◎お金を計画的に使えない
- ◎書類や印鑑をしまい忘れる 等

受けられるサービス

■福祉サービスの利用援助

- ◎福祉サービス利用に関する情報提供、相談 ◎福祉サービスの利用料の支払いお手伝い

■日常的な金銭管理

- ◎税金、公共料金の支払い手続き ◎医療費の支払い手続き ◎預貯金のおし入れ、解約手続き

■書類等の預かり

- ◎預貯金通帳、印鑑、証書などの預かり

サービスの利用料

■相談は無料

■サービスは有料

1回 1時間あたり1,300円です。生活保護を受けている方は無料です。

*判断能力がなくなった場合

「あんしんねっと」は、ご本人に契約の意思があり、契約の内容がある程度、きちんと理解できる方が対象です。

契約できるだけの判断能力がなくなった場合には、「成年後見制度」など別な制度につなげます。



東日本大震災で被災され沿岸被災地域より一関市に避難されている方(みなし仮設の方)を対象に、「お茶っこ交流会」を毎月開催しています。

十月は、いものこ汁を作りながら交流を図ろうということで十九日に三十三名が参加し磐井川河川敷で開催しました。

いものこ汁は、女性の方々が三グループに分かれて調理を行い、男性の方々は全員でおにぎりを握りました。

いものこ汁は三つ鍋ごとに微妙に違った味を出しており、それぞれ食べ比べを行いながらいものこ汁を堪能し、また男性の方々が握った様々な形のおにぎりも一緒に食べました。

いものこ汁で
交流を深める

在宅介護者の集い

十二月十八日(日)～十九日(月)の一泊二日、在宅で介護をされている方を対象に「在宅介護者の集い」を宮城県大崎市『旅館大沼』で開催しました。これは社協が主催するリフレッシュ事業で、毎年二回、一泊と日帰りに分けて開催しています。今回は介護者三十四名が参加しました。

レクリエーションの時間にはインストラクター資格を持つ職員が進行します。普段の介護の世界から自分を切り離し、気持ちを軽く持てるようにと、リズム体操や各種ゲームを取り入れて緊張をほぐします。「楽しむ」という感情を大切に、普段ためこみがちな自分を表現する場、笑いの絶えない時間を過ごしました。

その後は若返りの湯につかり、会食懇親会で交流を深めました。同じ悩みや経験を持つ方々と語り合うことで学ぶことや共有できることがあり、心が軽くなったり、今後の介護の励みにつながります。「楽しかった」「同じ仲間と外出する機会が貴重」「次回も待ってるよ」と、ありがたい感想をいただきました。

来年二月には、日帰りで介護者の集いを予定しております。自分の時間はとれていますか？介護疲れがたまっていますか？つかの間の息抜きと交流に、多くのご参加をお待ちしております。



今月の

ギャラリィ

工房では、作業の一環としてアート創作をしています。千葉一雄さんは、本を参考にしつつ、自由な空想も取り入れた楽しい作品を描いています。「たむれる犬」、「犬」はほのぼのとしたタッチで見ていると心が和みます。



お問い合わせは、工房でんとう虫まで

一関市川崎町薄衣字諏訪前三八
電話 〇一九一―四三―四七三三

まごころ寄附

平成24年9月から平成24年10月までに、市民の皆様からご寄附がありました。

一関支部

神戸市中央区 株式会社ドラゴンゲート 様 300,000円
山目字三反田 小野寺俊子 様 100,000円

花泉支部

金沢字毘波ノ沢 佐藤 一民 様 100,000円
涌津字西前 金田 敏幸 様 50,000円
花泉町 社会福祉支援団体 らば〜そうる 様 22,462円
永井字鞍懸山 穴戸 稔 様 100,000円

大東支部

摺沢字堀河ノ沢 那須 勇 様 100,000円
猿沢字寒沢 松田 英子 様 30,000円
鳥海字菖蒲沢 及川 宗一 様 50,000円
渋民字和田沢 及川眞喜子 様 30,000円
猿沢字荒谷 小野寺規子 様 100,000円
大原字山谷沢 岩淵 久治 様 30,000円
沖田字久子沢 千葉 英悦 様 100,000円
大原字高場 金野 信代 様 50,000円
大東町 大東芸術文化協会摺沢支部 50,000円
支部長 小原 松一 様
鳥海字細田 樋口タキ子 様 50,000円
大原字中島 中澤キク子 様 50,000円
大原字上川原 千葉 至 様 30,000円

千厩支部

千厩字館山 千葉 邦子 様 200,000円
千厩町 千厩本町長生会 様 21,120円
千厩字石堂 有限会社家具の小野寺 様 8,000円
磐清字鷹ノ巣 佐藤 和雄 様 車イス1台
千厩字上駒場 金野十三男 様 100,000円
千厩字宮田 遠藤 芳春 様 30,000円

東山支部

長坂字羽根堀 鈴木 子郎 様 30,000円

室根支部

津谷川字有切 菊地 憲英 様 100,000円
一関市真柴字中田 熊谷 公男 様 50,000円
折壁二丁目 奥野 富代 様 30,000円
矢越字歌戸 水戸 定夫 様 50,000円
矢越字宿 星 亨 様 100,000円
折壁字愛宕下 小山 正則 様 30,000円

川崎支部

一関市滝沢字水口 佐藤富喜子 様 100,000円
東山町長坂字柴宿 関水書道会 様 65,000円

藤沢支部

保呂羽字二本柳 柳有限会社 取締役 畠山二三夫 様 15,000円



まごころ寄附 の使いみち

皆様から頂いた、まごころ寄附は、「小地域福祉推進事業（地区福祉活動推進協議会等への助成）」「ふれあいサロンへの助成」など地域福祉を推進するための貴重な財源となっております。
10月 介護者リフレッシュ事業
12月 社協だよりの発行
4月～ 災害支援ボランティアバス運行・ボランティア協力校助成
の事業費の一部に使われております。

ホームページに関する
お問い合わせ先

社会福祉法人 一関市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/> E-mail : info@ichinoseki-shakyo.com